

**『コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート
ーゲノム医療に必要な考え方を身につけるー』
正誤表**

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本書に以下の誤りがございました。訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

2019年8月23日
株式会社 診断と治療社

ページ	箇所	誤	正	
別冊付録1 p.15	1 段目	3 行目	機能喪失型 (gain of function) 変異	機能喪失型 (loss of function) 変異
		6 行目	機能獲得型 (loss of function) 変異	機能獲得型 (gain of function) 変異
p.114	表5 各遺伝形式における家系図にみられやすい傾向表中：「常染色体優性遺伝」の項目1つ目	世代を超えて罹患者がみられる	各世代で罹患者がみられる	
p.117	図5 ○△×症候群の年齢別の累積発症率と30歳未発症者の変異保有の可能性 図中：下部の囲み枠の中に記載の計算式の数値	$\frac{2/5}{2/5+1/2}=2/9 \div 44\%$	$\frac{2/5}{2/5+1/2}=4/9 \div 44\%$	
p.171	1 段目下から 10 行目	(hereditary breast and ovarian syndrome : HBOC)	(hereditary breast and ovarian cancer syndrome : HBOC)	